

dou-shibuya facsimile Pal²

中小企業家同友会 渋谷支部 月刊新聞 パルパル

2012年3月号

発行 東京中小企業家同友会
渋谷支部 PAL²編集部
Mail sasaki@ad-pr.net
発行責任者 三木 秀治
http://www.tokyo.doyu.jp/sibu/5sibuya/

今月の一言

水のあり方に学ぶ

上善如水。
水善利万物而不争、
居衆人之所惡。(老子・荘子)

上善は水の如し。水は善く万物を利して争わず、衆人の悪む(にくむ)所に居る。

「上善」とは、理想的な生き方。その様な生き方をしようと思うなら、水のあり方に学べという。何故なら、水は万物に恩恵を与えながら、相手に逆らわないで、人の嫌がる低い所に流れていくからだという。

思うに水には三つの特徴がある。第一は、色々な形の器に入れるとその形になる。相手に逆らうことなくいかようにも形を変えてゆく柔軟性を持っている。

第二に、地球上の多くの生物に大きな恩恵を与えておきながら、自分とはいうと低い所、低い所に流れていく。そのあり方や、極めて謙虚である。

第三に、それでいて急流ともなれば、固い岩石のようなものまで打ち砕く力を秘めている。

こういう三つの特徴を踏まえて水のあり方に学べというのが「上善如水」にほかならない。むしろ「柔軟であれ、謙虚であれ」といっても、自分の主体性はきちんと堅持しているのであると記されている。(PHP研究所編 中国古典名言・名句より 参照)

このような生き方、人生でありたいと願っている。

オフィス大橋
大橋 武信

例会スケジュール

◆福島25時

中小企業問題全国経営研究集会
IN福島報告会

☆日時：3月28日(水)

☆会場：渋谷商工会館

☆報告者：渋谷支部より4名

☆参加費：1000円

◆ワールドビジネスネット例会

共催東京ビジネスネット
グローバル企業に学ぶグローバル

バルなマーケティング

☆日時：4月16日(月)18:30

☆講師：ジョン・エルウッド氏

(元日本コカ・コーラ 上級副社長)

☆会場：渋谷商工会館

☆参加費：2000円

◆渋谷支部総会

リピーター率100%製造業版
デザインブランドをめざして

☆日時：4月24日(火)

☆会場：渋谷区商工会館

☆会費：無料 懇親会別途

☆発表者：浜野 慶一氏

(株式会社 浜野製作所)

数村いづみの ごめんあそばせ Vol.50

2月22日で新業態のネイルサロンをスタートしてからはや一年が過ぎようとしている。昨年の今頃、さあこれから集客をと思気こんでいた矢先、3月11日はやってきました。一ヶ月はほぼ開店休業状態。実は今年の3月8日に日本橋に2号店。そして来月に初のフランチャイズ契約先となる篠崎に3号店目が同時に進行している。周りの方々がライバル店の状態を逐一報告くださるのを聞くと、そこは世間の相場の半額なのはうちと同じで、更にデザイン物も多いらしい。つまりものすごく混んで予約がとれないらしい。少し前の私なら焦りの状態に入ったのだが今では平気。なぜなら私がやりたいのはビジネスだから。拡大し続けるしくみ。人を雇用し続けるしくみ。発展し世の中に貢献できるかもしれないという入口に立ち始めたのを実感している。ビジネスってゲームと同じ。スロットマシンに1000円入れてガラガラポンして最後に出てくるお金が

3月の川柳三昧

もう3月に突入しました。花見が近づいて日々春らしい気分になってきます。3月11日は東日本大震災から1周年を迎えます。

あらためて心より哀悼の意を表し、被災された方々にお見舞い申し上げます。復興は緒についたばかりです。日本は一つという絆を一層強め一日も早い復興を祈念いたします。

「福島の 絆は地酒 ハワイアンズ」
「被災地の 地酒味わう 懇親会」

例会の後の二次会は被災地の酒で絆を深めましょう。

「合コンの 絆広がり 脈はなし」
こつこつと人脈を広げればその内さつとめぐり逢えます。

「諭吉との 絆は年々 細くなり」
財布の中の諭吉の顔はめつたに見なくなりまして。

「退職で 妻の絆は 愛犬に」
どうせ濡れ落ち葉ですから。

「成人を 迎えて絆 ぶつりと」
まあ、子どもはいつかは巣立ちますから。

「絆かも フェイスブックに ネットゲー」

バーチャルな世界の絆の方が強いのかも知れません。

「予備校の 絆が切れて 一年生」
入学はいいですが親の負担が心配です。

「スイーツの 絆深まり メタボ腹」

夫はいなくてもスイーツなしでは生きていけない。会社経営では同友会なしではうまくいかない。復興支援も中小企業の元氣から!

「心にも 財布にも良い 同友会」

★三木 秀治 川崎インターネット(株)

パルパル編集後記

震災後1年を過ぎ、同友会渋谷支部も今期をまもなく終えようとしています。この「パルパルFAX」もスタートしてから9年目になりますが、いつもご購入とご協力ありがとうございます。元支部長の横沢氏(株式会社理創)の要請で、私が編集制作を引き受け継続して参りました。その後、向出氏・三木氏と歴代支部長のもと、8年間毎月発行して来た事になります。継続は力なりと言いますが、このネット社会で、アナログ誌「パルパル」が支部の力になっているかは分りません。しかし、はつきり言える事は、毎月寄稿されている方達の原稿の質が、どんどん進化し、視点や表現力が素晴らしく発揮されている事です。ボランティア的作業の中で、それを読む時には、とても報われる気がしました。しかし、そろそろ「月刊パルパルFAX」にも新しい風が必要ではないかと感じます。今期、今月3月号を持ってFAXでの配信は、終わりといたします。支部ホームページで、パルパルは継続されると思いますが、今後ともよろしくお願致します。最後に、会員の皆様の心身の健康と、更に事業が進展される事を願い、8年間の購読御礼を申し上げます。

パルパル編集部 佐々木 栄アドビリアル